

## Ⅲ 大都市データ

川崎市を含む20の政令指定都市と東京都区部を合わせた21大都市は「大都市統計協議会」を設置して、各都市の各種統計情報を集約し、毎年「大都市比較統計年表」を作成、発行しています。

ここでは、「大都市比較統計年表（令和4年）」などを基に、主要な統計情報からみた川崎市及び各都市の特徴をまとめました。



1

# 人口・世帯数及び面積

●人口、世帯数は大都市で第7位

(令和5年10月1日)

都 市 名	政令指定都市 への移行年月日	区数	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)		面 積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	性 比
				令和4年	令和5年			
1 東京都 区部	-	23	5,371,490	9,720,389	9,783,988	627.53	15,591	96.1
2 横 浜 市	昭和31.9.1	18	1,799,480	3,771,961	3,771,766	438.01	8,611	97.2
3 大 阪 市	昭和31.9.1	24	1,530,572	2,756,807	2,770,520	225.33	12,295	92.7
4 名 古 屋 市	昭和31.9.1	16	1,156,744	2,325,778	2,326,683	326.50	7,126	96.4
5 札 幌 市	昭和47.4.1	10	995,320	1,973,011	1,969,912	1,121.26	1,757	87.2
6 福 岡 市	昭和47.4.1	7	871,300	1,631,409	1,642,571	343.47	4,782	89.3
7 川 崎 市	昭和47.4.1	7	772,375	1,540,890	1,545,604	144.35	10,707	101.3
8 神 戸 市	昭和31.9.1	9	745,656	1,510,171	1,499,887	557.05	2,693	88.3
9 京 都 市	昭和31.9.1	11	745,630	1,448,964	1,443,486	827.83	1,744	89.5
10 さ い た ま 市	平成15.4.1	10	609,454	1,339,784	1,344,850	217.43	6,185	96.7
11 広 島 市	昭和55.4.1	8	562,627	1,191,447	1,185,498	906.69	1,308	93.1
12 仙 台 市	平成元.4.1	5	544,894	1,099,239	1,097,814	786.35	1,396	93.9
13 千 葉 市	平成4.4.1	6	465,686	978,801	979,532	271.76	3,604	96.9
14 北 九 州 市	昭和38.4.1	7	438,678	924,143	916,241	492.50	1,860	89.5
15 堺 市	平成18.4.1	7	371,909	816,559	812,027	149.83	5,420	90.6
16 浜 松 市	平成19.4.1	7	330,814	783,573	779,780	1,558.11	5,00	98.9
17 新 潟 市	平成19.4.1	8	349,214	778,717	772,388	726.19	1,504	92.6
18 熊 本 市	平成24.4.1	5	338,474	737,850	738,020	390.32	1,891	89.7
19 相 模 原 市	平成22.4.1	3	344,797	726,559	725,087	328.91	2,205	99.2
20 岡 山 市	平成21.4.1	4	340,005	719,437	715,740	789.95	906	92.6
21 静 岡 市	平成17.4.1	3	301,672	683,358	677,286	1,411.93	480	94.6

\* 順位は令和5年の人口による。

\* 新潟市及び岡山市の世帯数は住民基本台帳に基づく世帯数である。

\* 川崎市の面積は本市公表値による。

(各都市公表値)

## データチェック

川崎市の人口・世帯数は第7位となっています。また、面積は川崎市が最も小さく、人口密度は川崎市が第3位となっています。性比(女性100人に対する男性の数)は、川崎市が最も高くなっています。

2

# 人口動態

●自然増加数は大都市で第2位

(単位：人) (令和4年)

都 市 名	人口増加 (自然増加+ 社会増加)	自然動態			社会動態			人口増加比率(% (人口増加数/10 月1日現在の人口))	
		自然増加	出生	死亡	社会増加	市(都)外との移動	市(都)内移動		その他の増減
1 福 岡 市	13,133	▲2,080	12,451	14,531	15,213	16,602	-	▲1,389	0.81
2 川 崎 市	1,691	▲2,092	11,556	13,648	3,783	4,811	-	▲1,028	0.11
3 熊 本 市	▲248	▲2,395	5,817	8,212	2,147	2,147	...	...	▲0.03
4 岡 山 市	▲2,467	▲2,796	5,230	8,026	329	968	-	▲639	▲0.34
5 さ い た ま 市	7,107	▲3,500	9,812	13,312	10,607	11,147	-	▲540	0.53
6 仙 台 市	2,121	▲3,707	7,118	10,825	5,828	5,837	7	▲16	0.19
7 相 模 原 市	6	▲3,798	4,257	8,055	3,804	4,149	-	▲345	0.00
8 広 島 市	▲4,418	▲3,920	8,387	12,307	▲498	▲752	-	254	▲0.37
9 浜 松 市	▲3,097	▲4,291	5,144	9,435	1,194	1,223	-	▲29	▲0.40
10 千 葉 市	688	▲4,846	5,990	10,836	5,534	5,883	-	▲349	0.07
11 堺 市	▲4,730	▲4,877	5,411	10,288	147	496	-	▲349	▲0.58
12 静 岡 市	▲5,340	▲5,232	4,027	9,259	▲108	11	-	▲119	▲0.78
13 新 潟 市	▲5,699	▲5,325	4,756	10,081	▲374	▲272	-	▲102	▲0.73
14 北 九 州 市	7,229	▲6,924	5,973	12,897	▲305	▲2,008	1,960	▲257	▲0.78
15 京 都 市	▲3,609	▲8,952	8,543	17,495	5,343	5,600	19	▲276	▲0.25
16 神 戸 市	▲6,806	▲9,173	9,196	18,369	2,367	3,716	-	▲1,349	▲0.45
17 名 古 屋 市	976	▲9,593	16,887	26,480	10,569	12,193	91	▲1,715	0.04
18 札 幌 市	▲1,156	▲12,215	11,258	23,473	11,059	11,153	-	▲94	▲0.06
19 横 浜 市	▲2,434	▲15,739	23,785	39,524	13,305	12,960	26	319	▲0.06
20 大 阪 市	9,720	▲16,141	19,202	35,343	25,861	27,836	...	▲1,975	0.35
21 東京都 区部	46,339	▲24,838	68,812	93,650	71,177	26,735	▲8,165	52,607	0.48

\* 順位は自然増加数による。

\* 大阪市と熊本市は「市外との移動」に「市内移動」を含む。

(大都市比較統計年表)

## データチェック

自然増加は全ての大都市で減少していますが、川崎市は福岡市に次いで減少数が少なくなっています。

## 3

## 年齢別人口

● 平均年齢は大都市で最も低い

(単位：人、%) (令和2年10月1日)

都 市 名	総数	年齢(3区分)別						平均年齢 (歳)
		15歳未満	構成比	15~64歳	構成比	65歳以上	構成比	
1 川崎市	1,538,262	189,490	12.3	1,001,271	65.1	301,151	19.6	43.7
2 福岡市	1,612,392	204,973	12.7	990,298	61.4	338,930	21.0	43.9
3 東京都	9,733,276	1,059,831	10.9	6,326,082	65.0	2,028,506	20.8	44.8
4 さいたま市	1,324,025	168,805	12.7	821,211	62.0	304,992	23.0	45.1
5 仙台市	1,096,704	128,665	11.7	673,081	61.4	257,223	23.5	45.4
6 広島市	1,200,754	158,290	13.2	706,497	58.8	300,882	25.1	45.9
7 岡山市	724,691	92,756	12.8	424,785	58.6	185,732	25.6	46.0
8 名古屋	2,332,176	275,484	11.8	1,388,348	59.5	566,154	24.3	46.1
9 熊本市	738,865	99,199	13.4	429,187	58.1	191,066	25.9	46.1
10 横浜市	3,777,491	441,810	11.7	2,316,309	61.3	920,583	24.4	46.4
10 大阪市	2,752,412	290,649	10.6	1,686,757	61.3	676,821	24.6	46.4
12 相模原市	725,493	82,532	11.4	435,860	60.1	185,236	25.5	46.7
13 千葉市	974,951	110,929	11.4	569,887	58.5	249,963	25.6	46.9
14 浜松市	790,718	101,461	12.8	457,684	57.9	220,925	27.9	47.4
14 京都市	1,463,723	153,005	10.5	847,046	57.9	394,400	26.9	47.4
14 堺市	826,161	102,091	12.4	471,667	57.1	233,131	28.2	47.4
17 札幌市	1,973,395	215,366	10.9	1,185,724	60.1	541,242	27.4	47.7
18 神戸市	1,525,152	171,315	11.2	843,645	55.3	419,161	27.5	48.0
19 新潟市	789,275	91,023	11.5	450,987	57.1	230,990	29.3	48.3
20 静岡市	693,389	78,274	11.3	395,897	57.1	209,628	30.2	48.8
21 北九州市	939,029	109,590	11.7	503,800	53.7	286,177	30.5	48.9

\* 順位は平均年齢の低い順である。

\* 総数には年齢不詳を含む。

(国勢調査)

## データチェック

川崎市は大都市の中で平均年齢が最も低くなっています。また、川崎市の15~64歳の生産年齢人口の構成比は大都市で最も高く、65歳以上の老年人口の構成比は最も低くなっています。

## 4

## 有業者

● 有業率は大都市で第2位

(単位：人、%) (令和4年10月1日)

都 市 名	15歳以上人口			有業率		
	総数	有業者	無業者	総数	男	女
1 東京都	8,682,900	5,997,400	2,685,500	69.07	77.11	61.43
2 川崎市	1,357,200	926,100	431,100	68.24	75.68	60.75
3 横浜市	3,316,100	2,111,800	1,204,300	63.68	72.31	55.30
4 大阪市	2,471,500	1,568,500	902,900	63.46	70.65	56.89
5 広島市	1,034,800	654,600	380,200	63.26	71.56	55.67
6 さいたま市	1,171,000	738,200	432,800	63.04	72.53	53.97
7 福岡市	1,349,700	850,400	499,200	63.01	70.25	56.76
8 相模原市	638,000	398,600	239,400	62.48	70.77	54.18
9 浜松市	674,800	421,300	253,600	62.43	70.42	54.70
10 名古屋市	2,054,500	1,273,200	781,200	61.97	71.32	53.07
11 静岡市	598,700	370,200	228,500	61.83	69.73	54.51
12 千葉市	865,100	534,600	330,600	61.80	69.20	54.54
13 京都市	1,301,400	797,000	504,400	61.24	67.80	55.48
14 仙台市	938,700	570,700	367,900	60.80	69.37	52.93
15 熊本市	638,100	386,800	251,300	60.62	66.99	55.05
16 岡山市	608,000	364,800	243,200	60.00	67.36	53.38
17 堺市	716,200	424,400	291,800	59.26	68.57	50.99
18 札幌市	1,746,900	1,022,700	724,200	58.54	68.29	50.17
19 新潟市	674,400	389,100	285,300	57.70	64.08	51.92
20 神戸市	1,341,000	757,900	583,100	56.52	64.30	49.83
21 北九州市	778,400	432,400	346,000	55.55	64.31	48.01

\* 順位は有業率(総数)による。

(就業構造基本調査)

## データチェック

川崎市の15歳以上人口に占める有業者の割合(有業率)は、第2位となっています。また、男女別でも有業者の割合は、それぞれ第2位となっています。

## 事業所（民営）

● 従業者300人以上の事業所の構成比は大都市で第2位

（単位：事業所、%）（令和3年6月1日）

都 市 名	民営事業所総数	従業者規模別				300人以上の 構成比
		1～29人	30～299人	300人以上	出向・派遣従業者のみ	
1 東京都 区部	503,699	455,814	39,050	3,093	5,742	0.614
2 川崎市	41,223	37,956	2,861	172	234	0.417
3 千葉市	27,826	24,923	2,569	106	228	0.381
4 大阪市	177,184	162,264	12,878	669	1,373	0.378
5 横浜市	116,479	106,851	8,555	414	659	0.355
6 さいたま市	40,233	36,742	3,123	122	246	0.303
7 札幌市	72,730	66,771	5,125	211	623	0.290
8 福岡市	74,867	68,613	5,419	216	619	0.289
9 名古屋市	117,344	107,637	8,446	333	928	0.284
10 相模原市	21,586	20,042	1,388	59	97	0.273
11 仙台市	47,321	43,479	3,338	123	381	0.260
12 神戸市	62,228	57,452	4,175	162	439	0.260
13 浜松市	33,755	31,302	2,189	85	179	0.252
14 熊本市	30,344	28,240	1,845	76	183	0.250
15 京都市	69,670	65,095	3,978	170	427	0.244
16 堺市	27,315	25,171	1,921	63	160	0.231
17 北九州市	39,995	37,186	2,494	92	223	0.230
18 新潟市	32,995	30,467	2,221	74	233	0.224
19 広島市	52,401	48,528	3,373	110	390	0.210
20 静岡市	33,514	31,230	1,965	67	252	0.200
21 岡山市	32,683	30,307	2,094	64	218	0.196

\* 順位は従業者数300人以上の事業所の構成比による。

（経済センサス活動調査）

### データチェック

川崎市の事業所数（民営）は第11位となっています。従業者300人以上の事業所割合は東京都区部に次いで第2位となっています。

## 製造業（従業者4人以上の事業所）

● 従業者1人当たり製造品出荷額等は大都市で第1位

（単位：事業所、人、百万円）（令和3年6月1日）

都 市 名	事業所数			従業者数	製造品出荷額等	従業者1人当たり 製造品出荷額等
	総数	4～29人	30人以上			
1 川崎市	1,032	803	229	47,466	3,399,874	71.63
2 堺市	1,208	901	307	49,943	3,549,788	71.08
3 千葉市	447	300	147	21,683	1,214,537	56.01
4 広島市	1,147	865	282	52,285	2,804,913	53.65
5 仙台市	525	414	111	15,400	818,366	53.14
6 神戸市	1,329	936	393	67,625	3,409,011	50.41
7 北九州市	971	682	289	48,008	2,108,132	43.91
8 静岡市	1,309	1,023	286	48,131	2,057,410	42.75
9 横浜市	2,286	1,770	516	89,055	3,516,454	39.49
10 相模原市	801	594	207	34,813	1,250,886	35.93
11 京都市	2,040	1,683	357	61,518	2,142,892	34.83
12 名古屋市	3,542	2,959	583	91,740	2,993,171	32.63
13 岡山市	850	610	240	31,097	1,012,722	32.57
14 大阪市	4,989	4,191	798	110,834	3,531,494	31.86
15 新潟市	890	638	252	35,097	1,083,391	30.87
16 さいたま市	825	661	164	27,011	827,666	30.64
17 福岡市	713	568	145	21,100	597,014	28.29
18 浜松市	1,783	1,310	473	66,522	1,823,761	27.42
19 熊本市	414	311	103	15,752	430,405	27.32
20 東京都 区部	7,457	6,596	861	130,726	2,998,631	22.94
21 札幌市	952	747	205	28,853	644,492	22.34

\* 順位は従業者1人当たり製造品出荷額等による。

\* 製造品出荷額等は令和2年1年間の数値である。

（経済センサス活動調査）

### データチェック

川崎市の従業者4人以上の事業所の従業者1人当たり製造品出荷額等は第1位となっています。一方で、製造品出荷額等は第5位、事業所数は第11位、従業者数は第12位となっています。

## 7

## 商業

## ● 1事業所当たり年間商品販売額は大都市で第12位

(単位：事業所、人、億円) (令和3年6月1日)

都 市 名	卸 売 業			小 売 業			1事業所当たり 年間商品販売額
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額	
1 東京都 区部	32,004	799,220	1,531,575	50,752	533,116	154,061	20.37
2 大阪市 市	15,709	248,527	356,003	18,888	167,428	41,271	11.48
3 名古屋市 市	10,024	136,790	226,045	13,079	132,894	32,329	11.18
4 福岡市 市	6,596	74,534	114,375	9,377	87,918	21,206	8.49
5 仙台市 市	4,589	49,155	71,955	6,085	61,860	14,879	8.14
6 千葉市 市	1,503	20,783	26,398	3,799	50,528	11,620	7.17
7 さ い た ま 市	2,279	32,465	38,987	5,115	63,232	13,231	7.06
8 広島市 市	4,131	45,301	60,214	6,522	64,596	14,067	6.97
9 札幌市 市	5,182	54,461	71,827	8,413	98,754	22,787	6.96
10 横浜市 市	4,905	68,348	68,758	14,340	168,665	38,461	5.57
11 神戸市 市	3,190	40,357	43,752	8,750	82,248	17,882	5.16
12 川崎市 市	1,391	21,760	20,375	4,962	61,227	11,572	5.03
13 岡山市 市	2,158	21,757	21,275	4,515	41,026	9,081	4.55
14 東京都 市	3,508	40,558	44,850	10,112	88,500	16,587	4.51
15 新潟市 市	2,234	22,619	22,169	5,136	45,434	8,958	4.22
16 浜松市 市	1,998	18,325	19,190	4,888	42,930	8,727	4.05
17 静岡県 市	2,354	22,323	21,249	5,113	40,165	7,727	3.88
18 熊本 市	1,744	18,281	14,841	4,435	38,740	8,422	3.76
19 堺市 市	1,228	12,052	10,261	3,568	36,762	7,450	3.69
20 相模原市 市	782	6,670	5,584	2,671	31,817	6,009	3.36
21 北九州市 市	2,201	19,858	17,140	6,359	49,349	10,040	3.18

\*順位は1事業所当たり年間商品販売額による。

(経済センサスー活動調査)

## データチェック

川崎市の卸売業の事業所数は第19位、従業者数は第14位、年間商品販売額は第16位となっています。小売業の事業所数は第15位、従業者数は第12位、年間商品販売額は第13位となっています。卸売業と小売業を合わせた商業全体の1事業所当たり年間商品販売額は第12位となっています。

## 8

## 貿易

## ● 海上輸(移)出入貨物数量は大都市で第8位

(単位：10億円、千トン) (令和4年)

都 市 名	外国貿易海上輸出入額			海上輸(移)出入貨物数量				
	総額	輸出	輸入	総数	輸出	輸入	移出	移入
1 名古屋市 市	21,393	14,012	7,381	163,583	41,936	66,828	28,053	26,765
2 千葉市 市	6,963	1,157	5,806	136,611	10,080	71,669	30,093	24,769
3 横浜市 市	14,977	8,242	6,735	106,224	28,924	46,860	14,536	15,904
4 北九州市 市	3,379	1,654	1,725	100,412	7,034	22,708	33,282	37,388
5 神戸市 市	12,063	7,188	4,875	91,634	23,053	29,504	16,165	22,912
6 大阪市 市	11,316	5,003	6,312	85,568	8,494	25,871	22,476	28,727
7 東京都 区部	22,863	7,470	15,393	83,926	11,687	35,832	14,172	22,235
8 川崎市 市	5,174	1,250	3,924	68,519	5,396	40,436	11,895	10,792
9 堺市 市	3,285	983	2,302	39,033	1,123	17,691	8,576	11,643
10 福岡市 市	5,294	3,914	1,380	32,253	7,971	9,910	4,126	10,247
11 新潟市 市	866	123	743	28,174	1,011	11,461	6,596	9,106
12 仙台市 市	1,294	317	977	24,476	1,292	8,180	6,816	8,188
13 静岡県 市	3,698	2,250	1,449	15,543	3,329	5,926	1,799	4,490
14 広島市 市	2,051	1,630	420	10,210	4,073	1,315	1,342	3,480
15 岡山市 市	779	37	742	1,096	-	-	263	833
16 熊本市 市	30	19	10	933	52	79	138	663
- 京都市 市	119	110	10	-	-	-	-	-
- 札幌市 市	-	-	-	-	-	-	-	-
- さ い た ま 市	-	-	-	-	-	-	-	-
- 相模原市 市	-	-	-	-	-	-	-	-
- 浜松市 市	-	-	-	-	-	-	-	-

\*順位は海上輸(移)出入貨物数量総数による。

(貿易統計、港漕調査)

\*外国貿易海上輸出入額は貿易統計による税関別貿易額である。海上輸(移)出入貨物数量は港漕統計による数値である。

## データチェック

川崎市の外国貿易海上輸出入額総額は、第8位となっています。内訳をみると、輸出額は第10位、輸入額は第7位となっています。

海上輸(移)出入貨物数量総数は第8位となっています。内訳をみると、輸出力は第9位、輸入量は第4位となっています。

## 住宅

●共同住宅に住む世帯の割合は大都市で4番目に高い

(単位：世帯、%) (令和2年10月1日)

都 市 名	住宅に住む 一般世帯	一戸建	長屋建	共同住宅	その他	共同住宅に住む 世帯の割合
1 福 岡 市	822,382	171,220	5,401	645,138	623	78.4
2 東 京 都 区 部	5,155,684	1,227,436	41,905	3,876,669	9,674	75.2
3 大 阪 市	1,452,256	343,041	33,941	1,073,866	1,408	73.9
4 川 崎 市	734,948	190,144	6,797	537,449	558	73.1
5 名 古 屋 市	1,101,286	365,893	14,419	719,787	1,187	65.4
6 札 幌 市	961,053	327,892	10,457	621,891	813	64.7
7 神 戸 市	714,745	253,536	9,693	450,774	742	63.1
8 横 浜 市	1,723,305	637,230	19,514	1,064,905	1,656	61.8
9 仙 台 市	519,554	199,899	4,415	314,803	437	60.6
10 千 葉 市	440,350	170,396	4,606	264,815	533	60.1
11 広 島 市	546,572	226,075	7,680	312,161	656	57.1
12 北 九 州 市	429,106	187,240	6,176	235,282	408	54.8
13 さ い た ま	575,110	261,748	5,092	307,808	462	53.5
14 京 都 市	722,903	328,739	8,650	384,947	567	53.3
15 熊 本 市	323,139	150,273	2,897	169,583	386	52.5
16 相 模 原 市	330,313	153,906	4,296	171,928	183	52.1
17 堺 市	361,869	167,340	8,323	185,916	290	51.4
18 岡 山 市	323,841	173,255	4,919	145,324	343	44.9
19 静 岡 市	294,002	175,028	2,844	115,825	305	39.4
20 浜 松 市	315,967	199,693	5,931	109,992	351	34.8
21 新 潟 市	328,249	211,542	3,399	113,075	233	34.4

\*順位は共同住宅に住む世帯の割合による。

(国勢調査)

## データチェック

川崎市の住宅に住む一般世帯数は、第7位となっています。このうち、共同住宅に住む世帯の割合は第4位となっています。

## 消費者物価地域差指数

●消費者物価地域差指数(総合)は大都市で2番目に高い

都 市 名	平成31・令和元年平均 平均(全国=100)		令和2年平均 平均(全国=100)		令和3年平均 平均(全国=100)		令和4年平均 平均(全国=100)	
	総合	食料	総合	食料	総合	食料	総合	食料
1 東 京 都 区 部	105.4	103.4	106.0	103.2	105.3	102.9	105.5	103.2
2 川 崎 市	105.2	101.3	104.7	101.8	104.2	101.8	104.0	101.7
3 横 浜 市	104.7	102.5	103.7	102.0	103.6	102.0	103.7	102.0
4 相 模 原 市	103.0	102.2	102.1	102.0	101.8	101.6	101.9	101.6
5 さ い た ま	102.7	101.2	101.6	100.2	101.1	99.6	101.4	99.2
6 札 幌 市	99.5	100.9	100.1	100.7	100.6	101.7	100.9	102.8
7 京 都 市	100.8	100.9	101.6	101.2	101.1	101.5	100.8	100.9
8 千 葉 市	101.3	102.8	101.1	102.7	100.6	101.9	100.7	101.4
9 大 阪 市	99.7	100.8	100.7	100.6	100.7	100.3	100.3	100.5
10 静 岡 市	99.7	100.2	99.9	100.3	99.9	99.9	100.0	99.1
11 仙 台 市	99.9	98.4	99.4	98.7	99.6	98.4	99.7	98.6
12 堺 市	100.0	99.8	99.7	99.4	99.8	99.3	99.4	99.6
13 神 戸 市	100.9	99.8	100.3	99.7	99.9	100.3	99.4	99.9
14 名 古 屋 市	98.5	97.6	98.5	98.3	98.9	99.2	99.2	99.3
15 新 潟 市	98.9	100.9	98.7	100.8	98.7	101.0	99.0	101.5
16 熊 本 市	98.4	99.9	98.7	100.0	99.0	99.7	99.0	100.1
17 広 島 市	98.9	100.1	98.7	100.3	98.8	101.3	98.9	101.7
18 浜 松 市	98.5	99.5	98.6	99.7	98.6	99.7	98.4	98.5
19 北 九 州 市	97.5	98.2	98.3	99.0	98.4	99.3	98.2	99.8
20 岡 山 市	97.6	99.3	97.6	100.6	98.0	101.1	97.9	100.5
21 福 岡 市	97.5	95.2	97.8	96.4	98.0	97.2	97.8	97.7

\*順位は令和4年平均総合指数による。

(大都市比較統計年表)

## データチェック

消費者物価地域差指数(全国平均を100とした場合の地域ごとの年平均指数)の総合指数をみると、令和4年平均総合指数の川崎市は第2位となっています。

## 市(都)民経済計算

● 1人当たり市民所得は大都市で第4位

(単位: 百万円、%) (令和2年度)

都 市 名	市(都)内総生産(名目)		市(都)内総生産(実質)		市(都)民所得		1人当たり市(都)民所得(千円)
	実 数	対前年度増加率	実 数	対前年度増加率	うち市(都)民雇用者報酬		
1 東京都	109,601,589	▲4.7	106,850,365	▲5.6	73,249,471	39,594,523	5,213
2 大阪市	19,516,170	▲4.1	19,020,497	▲4.9	10,283,248	7,283,516	3,736
3 名古屋市	13,372,531	▲5.4	13,049,463	▲6.3	8,649,986	5,960,615	3,709
4 川崎市	6,301,580	▲0.2	6,127,046	▲1.8	5,432,297	4,436,599	3,531
5 横浜市	14,063,156	▲1.9	13,663,928	▲3.3	12,527,060	9,058,209	3,316
6 堺市	3,480,686	5.9	3,381,934	5.1	2,648,910	1,718,082	3,206
7 広島市	5,276,490	▲2.6	5,233,370	▲3.4	3,783,245	2,777,442	3,151
8 岡山市	2,878,993	▲3.6	2,815,439	▲4.3	2,241,146	1,520,676	3,093
9 仙台市	5,026,807	▲4.8	4,858,565	▲6.1	3,343,838	2,666,957	3,049
10 千葉市	4,031,878	▲2.9	3,945,137	▲3.5	2,969,563	2,191,513	3,046
11 福岡市	7,386,168	▲5.8	7,172,117	▲6.7	4,812,724	3,844,861	2,985
12 浜松市	3,141,318	▲1.5	3,118,074	▲2.2	2,321,326	1,745,938	2,936
13 神戸市	6,993,551	▲1.9	6,877,677	▲2.8	4,476,164	3,348,843	2,935
14 新潟市	3,142,161	▲3.4	3,072,949	▲4.0	2,274,297	1,700,603	2,882
15 京都府	6,177,580	▲5.7	6,092,288	▲6.1	4,120,735	2,919,057	2,815
16 札幌市	7,280,136	▲4.5	7,073,502	▲5.3	5,334,758	4,296,199	2,703
17 北九州市	3,669,563	▲4.5	3,543,803	▲5.9	2,418,369	1,703,977	2,575
- さいたま市	...	...	...	...	...	...	...
- 相模原市	...	...	...	...	...	...	...
- 静岡市	...	...	...	...	...	...	...
- 熊本市	...	...	...	...	...	...	...

\*順位は1人当たり市(都)民所得による。

(大都市比較統計年表)

## データチェック

川崎市の令和2年度の市内総生産は、名目、実質ともに第8位となっています。また、市民所得及び市民雇用者報酬は第5位となっており、1人当たり市民所得は第4位となっています。

## 治安及び災害

● 人口当たり刑法犯認知件数は大都市で2番目に少ない

(単位: 件) (令和4年)

都 市 名	交通事故発生件数		刑法犯認知件数及び犯罪検挙件数(発生地による)		
	総数	人口10万人当たりの交通事故発生件数	認知件数	検挙(解決)件数	人口1,000人当たりの認知件数
1 熊本市	1,644	222.8	2,740	1,755	3.7
2 川崎市	2,655	172.3	5,840	3,401	3.8
2 横浜市	7,492	198.6	14,380	9,190	3.8
4 静岡市	3,579	523.7	2,800	1,672	4.1
5 浜松市	5,094	650.1	3,263	1,670	4.2
6 新潟市	1,196	153.6	3,330	2,210	4.3
7 相模原市	1,991	153.6	3,216	1,528	4.4
8 仙台市	2,165	197.0	5,234	2,629	4.8
9 京都市	2,374	163.8	7,032	4,054	4.9
10 札幌市	4,428	224.4	10,183	5,022	5.2
11 さいたま市	2,908	217.0	7,113	3,434	5.3
11 岡山市	1,816	252.4	3,810	2,023	5.3
13 広島市	1,865	156.5	6,453	3,448	5.4
14 千葉市	2,092	213.7	5,912	2,716	6.0
15 東京都区部	20,929	215.3	59,818	31,976	6.2
16 堺市	2,515	308.0	5,194	1,962	6.4
17 北九州市	3,949	427.3	6,175	3,322	6.7
18 神戸市	4,804	318.1	10,618	5,721	7.0
18 福岡市	5,780	354.3	11,479	4,850	7.0
20 名古屋市	8,222	353.5	17,683	8,394	7.6
21 大阪市	8,106	294.0	33,705	11,696	12.2

\*順位は人口1,000人当たり刑法犯認知件数による。

(大都市比較統計年表)

\*交通事故発生件数は、道路交通法の「道路上」での法規違反による事故数を集計したものである。なお、札幌市、川崎市、名古屋市及び神戸市は高速道路上の事故を含み、他都市は除く。

\*人口当たり件数の算出に使用した人口は令和4年10月1日現在の数値である。

## データチェック

人口1,000人当たりの犯罪認知件数は、2番目に少なくなっています。また、人口10万人当たりの交通事故発生件数は、4番目に少なくなっています。

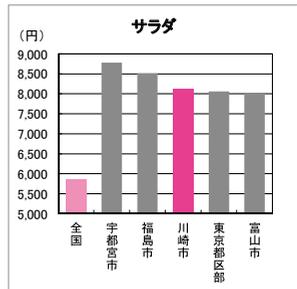
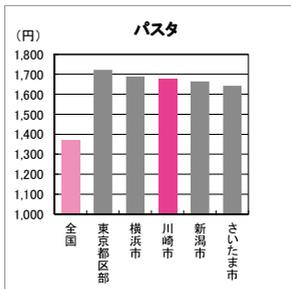
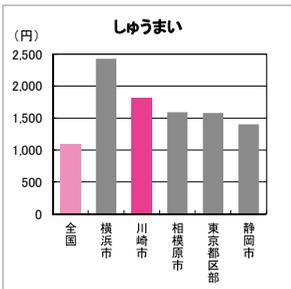
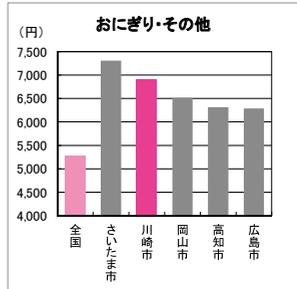
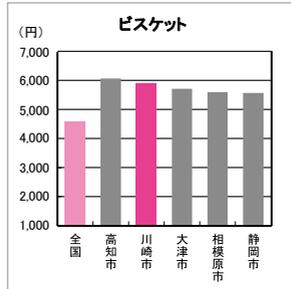
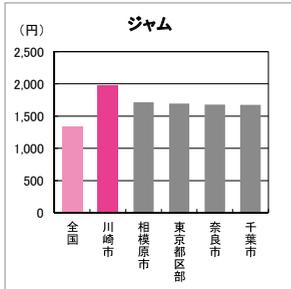
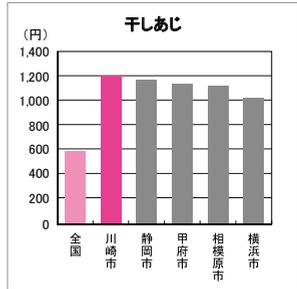
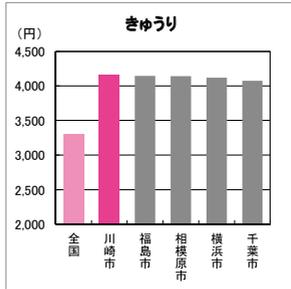
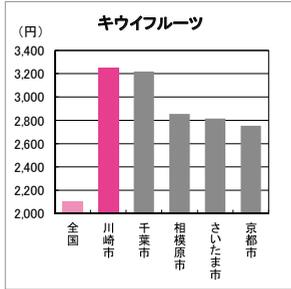
総務省が行っている「家計調査」の結果をみると、その都市に住んでいる世帯でどのような品目に多く支出しているかが分かります。

2人以上世帯における1世帯当たりの品目別平均支出金額及び平均購入数量（令和3（2021）年～令和5（2023）年）の品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市（※）ランキングから、川崎市に住んでいる2人以上世帯が多く支出している食料品をまとめて、川崎市民の特徴を探ってみました。  
※都道府県庁所在市以外の政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市）

●川崎市民が多く支出している品目

食料品、飲料のうち、平均支出金額が上位3位以内となったものをまとめました。

キウイフルーツ、きゅうり、干しあじ、ジャムで1位、ビスケット、おにぎり・その他、しゅうまいなどで2位、パスタ、サラダなどで3位となりました。



●10年前に川崎市民が多く支出（購入）したものは・・・

平成23（2011）年～平成25（2013）年の同調査結果をみると、平均支出額が1位となった食べ物は、おにぎりとハンバーガーでした。また、平均購入量が1位となったのはスパゲッティ、チーズ、ブロッコリー、トマト、キウイフルーツでした。そのほか、レタスが2位、ねぎが3位、きゅうりが5位でした。

キウイフルーツ、きゅうり、おにぎり、パスタは10年前も現在も、支出額や購入量が多いことが分かりました。